

サービス提供事業者

アジア航測株式会社, 株式会社アイ・トランスポート・ラボ, 株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー, 同志社大学, 株式会社アクセルスペース

サービス利用ユーザ

(想定) 大手資産運用企業, ヘッジファンド, 証券・金融機関, 商社, 商船会社, マスコミ

実証事業概要(200文字程度)

船舶向け衛星AIS(自動船舶識別装置)は広域で一定の精度で海上貨物量の推定が行えることが分かっている一方、国内電波法による利用制限や海外のデータが高額という制約がある。こうした背景の下、衛星AISを衛星画像と組み合わせて活用し、船舶の種類や積載量等の推定を行い、リアルタイムに経済動向を判断する手法のプロトタイプを確立することで、将来的に投資家や企業向けに提供するサービスの実現を見据え、本実証を実施する。

実証事業詳細(図表等を用いて説明)

【背景①】

- 企業や投資家にとって、グローバルな経済トレンドや市況変化の把握(経済動向の先読み)は収益向上に重要
  - 各国各種統計データは、公表までに時間がかかり、信頼性が低い国があることが課題
- 高精度で短期の経済動向予測を行うことが困難 = **ビジネスチャンス**

【背景②】

- 衛星AISの実用化に向けた電波法の一部改正が実施
  - 今後、施行規則の改正等による関連規制が具体化
- これを見越し、事業化を見据えて実証を実施

【実証終了後】

アクセルスペース社「Axel Globe」事業(50機の超小型衛星「GRUS」運用)と連携

世界の国際物流の9割を占める海上輸送に着目

【実証期間中】

海上技術安全研究所による研究成果(JAXA衛星AIS活用)を活用、経済専門家やユーザ企業の協力のもと実施

